

## 付属推薦・指定校推薦出願状況

高3は基礎学力到達度テストの結果が出ただけでなく、出願先も決定している状況です。現時点での付属推薦の出願状況をまとめました。

今年度の基礎学力到達度テストの結果を受けて、各受験生が自分の希望する学科に出願しますが、基礎学力選抜については、志望学科選定の際の判断材料として、各学科における過去の最低通過順位を参考にしました。その結果、大学出願前の選抜に当たる「セレクション」を経て、以下の表のような通過者の数となっています。また付属特別選抜の豊山枠については、校内での成績をもとに校内選考を経て選抜されました。今年度の高3は13クラスあるので、付属推薦については例年よりも多少不利な状況ではありますが、その中でも順調に出願できそうです。

特に文系では法学部(二部含む)に85名、理系では理工学部(二部含む)に98名の出願者数となりそうです。



	基礎学力	付属特別	国公立併願	合計
法	60	15	0	75
法(二部)	5	5	0	10
文理	35	4	—	39
経済	27	23	0	50
商	13	11	0	24
芸術	8	4	—	12
国際関係	1	0	0	1
危機管理	5	1	—	6
スポーツ科	2	5	—	7
理工	50	48	0	98
生産工	12	12	0	24
工	0	0	0	0
医	0	0	—	0
歯	0	0	—	0
松戸歯	0	0	—	0
生物資源科	26	9	0	35
薬	6	0	0	6
短大三島	1	1	—	2
短大船橋	2	0	—	2
合計	253	138	0	391

各学部の人数で「0」は出願者がいないことを表し、「—」は学部がその方式を採用していないことを表しています。

### < 指定校出願校 >



上智大学, 明治大学, 立教大学, 中央大学,  
法政大学, 学習院大学, 東京理科大学, 芝浦工業  
大学, 玉川大学, 東京国際大学, 東京電機大学,  
東京都市大学, 東京農業大学, 日本医療科学大学,  
明治学院大学, 千葉工業大学, 武蔵大学など

指定校についても出願生徒が順次決定しています。校内での成績をもとに、希望者の中で10月3日(火)と17日(火)に校内選考が行われました。今年度は2回の選考で106名の希望に対して70名が通過しました。また、指定校推薦は進学クラスや体育クラスのみならず特進クラスも希望できますが、力があり総合序列の上位にいる生徒が人気校に通過するケースが多いです。また、希望者の数は昨年よりも20名以上増えています。付属推薦以外にも選択肢が増えている結果と言えるでしょう。今年度は昨年度以上に年内で合格を勝ち取りたいという生徒が増えているようです。

指定校推薦というのは、各大学の判断で本校に推薦枠を割り当てて頂いているものですので、校内選考を通過した生徒はこれまでの先輩以上の頑張りを期待します。

今後は、11月上旬を中心に出願が行われ、その後各大学での選考を経て可否が決定する予定です。

## 指定校推薦で気をつけること

本校は非常に多くの大学・専門職大学・専門学校等から指定校推薦の枠をいただいています。今年度の高3は、現在のところ70名が指定校推薦で進学先を決めようとしています。指定校推薦での進学を考えている人もいますが注意点がいくつかあります。

### 1. 出願条件に達していなかった。

ほぼすべての大学等は、指定校推薦の出願条件に「**評定平均値**」を設定しています。ただし、それだけではない大学も多いです。「**出席日数**」や「**資格取得**(特に英検が多い!)」、特殊なところでは「オープンキャンパスに参加した」「英語に関する資格を受験したことがある」などの条件も。同じ大学であっても学部や学科で出願基準が違うことがあり、慎重に確認する必要があります。条件に達していない場合には出願することはもちろん、校内選考にエントリーすることすらできません。

### 2. 必ず合格するわけではない。& 枠がなくなることがある。

指定校推薦は高校と大学等との信頼関係で行われるものです。原則として不合格になることはほとんどありませんが、100%合格ではないのも事実です。対策はしっかりと行いましょう。また、指定校推薦で進学した場合、その人の大学での学習態度や学習成績等が悪いと、翌年度からの指定校推薦の枠がなくなってしまうことがあります。後輩のためにも責任を持った学校生活を送ってください。

### 3. 校内選考通過後は辞退できない!

校内選考通過後は必ず入学まで進んでもらうことになります。また、他の推薦と同時進行することもできないので注意してください。



\*\*\*\*\*

## 調査書について知っておこう

皆さんは、大学を受験する際に必ず大学に提出しなければならない「調査書」が、どのような書類なのかを知っていますか? 「厳封」状態での提出を大学が求めている書類であるため、受験生本人が実物を目にする機会はありません(受験生が勝手に開封したら、その調査書は無効となってしまいます)。そこで、今回は調査書の主な記載内容を以下に紹介したいと思います。

### 【調査書の主な内容】

- 各教科・科目等の学習の記録  
(学年別・科目ごとの5段階評定と修得単位数)
- 評定平均値(全科目/科目ごと)
- 学習成績概評(高校3年間の成績をA~E段階で表したもの)
- 「総合的な学習(探究)の時間」で取り組んだ内容と評価
- 特別活動の記録  
(生徒会活動(生徒会役員や各委員会)、クラス内での係分担、部活動、学校行事の役員など)
- 指導上参考となる諸事項  
(「学習における特徴等」「行動の特徴、特技等」「部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等」「取得資格・検定等」「表彰・顕彰等の記録」という観点で記される)
- 出欠の記録(欠席日数やその理由が記載されている)



3年間の記録なので、高1・高2での評定や欠席日数も大学側に伝わることになります。文部科学省のHPでサンプルが公開されているので、一度見てみるとイメージしやすいでしょう。なお、調査書は即日発行できるものではありませんので、遅くとも受領希望日の10日前には申し込むようにしましょう。

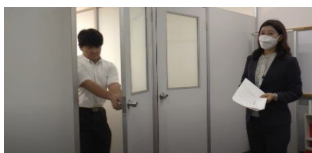
# 高3 面接指導講演会

校内選考やセレクションを通過した高3のみなさんは、出願書類の作成が大変だったと思います。特に、志望理由書に頭を悩ませ、やっとのことで完成させたのではないのでしょうか。推薦入試全体で見ると、まだ出願した段階(11/1出願)に過ぎません。入試本番はこれからとも言えます。

高3を対象に「面接指導講演会」が動画で配信されました。これは10月6日(金)に本校にて撮影したものです。同じく高3の3名の生徒が実際に模擬面接の撮影に臨みました。動画の内容では、3名が真剣な面持ちで、緊張しながら受け答えをしています。動画を観るみなさんも、同様のモチベーションで選考当日に臨んでください。

動画では、①入室の方法・マナー、②面接で受け答えをする際の座る姿勢、③面接官の方への伝え方・言葉遣いなど、気を付けなければならないポイントが盛りだくさんとなっています。実際に模擬面接をする前にぜひおさえておきたいところですね。

面接では、皆さんの各学科の専門性についての質問はもちろんのこと、皆さんがこれまでに積み上げてきたものや「これからどうなりたいのか」という未来も見られるという意識を持っておきましょう。特に面接官の質問に対しては、「なぜその学部・学科にしたか」「第三者的評価の視点」「数字や日付を入れて説明をする」などを意識して答えられるようにしましょう。



← 入室の仕方も多くのマナーがあります。動画で確認をしましょう。

椅子の座り方や手の位置にも気を付けるポイントがあります。



\*\*\*\*\*

## 日本大学文理学部体験授業

9月24日(日)、文理学部体験授業が実施されました。これは大学の先生方の講義を、実際に文理学部の講義室で聴くことができる付属生向けの体験授業です。各先生方には付属高校生のために30分という短い時間に凝縮された講義を行っていただきました。

今年度の本校からの参加は1年生が1名、2年生は12名と、昨年度と比べても大幅に少なくなっています。実際に大学で学ぶ学問領域について知るよい機会ですので、次年度はもっと多くの生徒が積極的に参加してくれることを期待しています。

当日の講義の内容は次の通りです。

人文系①	哲学科	→ 悲劇の快, ホラーの快
	史学科	→ 国号「日本」はいつ成立したか?
	国文学科	→ 「ことばの意味」とは何か
人文系②	中国語中国文学科	→ 言語が反映する外界認識の違い
	ドイツ文学科	→ 映像で読むドイツの歴史
社会系③	英文学科	→ ハリー・ポッター: エピソードD
	社会学科	→ 現代社会と広告の社会学
	社会福祉学科	→ 暮らしの中の社会保障
社会系④	地理学科	→ GISによる地域の可視化
	体育学科	→ 筋線維から見た教育改革
	心理学科	→ 人はなぜ間違いや誤解をするのか?
	教育学科	→ なぜ「学校」は必要なのか?
理学系⑤	数学科	→ データの散らばりを計算する
	情報科学科	→ 消防士問題
	物理学科	→ 「量子」科学の未来と社会
理学系⑥	地球科学科	→ 数値天気予報の基礎とその利用
	生命科学科	→ 最先端技術で見る脳の不思議
	化学科	→ 温度とエントロピーでみる分子の不思議な世界



## 実用英語技能検定について

豊山生にも馴染み深い英語検定試験ですが、大学入試にも直結していて、合否判定の際に利用されるケースが増えています。日本大学への付属推薦についても、英検準2級や英検2級所持で、出願資格にある評定平均値に加算されたり、検定級そのものが出願資格になっている学科があります。また、日本大学以外の他大学においても、ほぼすべての国公立大学と半数以上の私立大学で英語検定試験を含んだ英語資格を入試に利用しているという調査結果があります。なお、「所持級」と「CSEスコア」の両方が入試では大切となります。

(1) 出願資格そのものになっている例

青山学院大: 総合文化政策学部(個別A方式) CSE2100  
法政大: グローバル教養学部(資格利用方式) 英検準1  
東京理科大: 全学部(グローバル方式) CSE1400以上

(2) 入試成績に加点される例

明治大: 総合数理学部(英語4技能方式) 英検2級以上

(3) その他の外国語試験

英語検定試験だけではなく、TEAP, TOEIC, TOEFLなどの試験も有名です。例えば、TEAPは、大学教育で求められる英語のレベルを想定して作成したテストになります。大学によっては、TEAP専用の入試方式があることもあります。また、海外留学をする場合については、TOEFLのスコアが重要になってきます。

各検定試験において、対策が必要で、合否があり、検定料が必要とはなりますが、自身の英語学習の1つの到達点として取得を希望しても良いかもしれません。また、CBT方式など、受験出来る機会も増えていますので、ぜひチャレンジしてみてください。



\*\*\*\*\*

### 11月の進路行事

11月11日(土)~19日(日)	各学部付属推薦選考日 (高3)	月
12月1日(金)	追加募集実施学部学科発表 (高3)	日
12月2日(土)	追加募集セレクション申告届提出 (高3)	(
12月5日(火)	追加募集セレクション結果発表 (高3)	)
12月6日(水)	追加募集校内出願期日 (高3)	日直
※追加募集合格発表は学部による		

高3の付属推薦は、学部や方式によっては書類選考だけの場合がありますが、原則として面接、学部によっては小論文や実技があることがあります。下表に日程を掲載しておきますので、十分な準備をして臨んでください。また、最新年度(昨年度)の受験生アンケートをロイノートで閲覧ができるようにしています。過去2年目以前のアンケート結果は、進路相談室の棚にありますので、各自閲覧ができます。その際は担任に閲覧の申し出をしてください。

学部	選考日	合格発表	手続締切	学部	選考日	合格発表	手続締切
法	11/19	12/1	12/15	生産工	11/19	12/1	12/13
文理	11/18	12/1	12/15	工	11/18	12/1	12/18
経済		12/1	12/15	医	11/11	12/1	12/8
商	11/18	12/1	12/14	歯	11/18	12/1	12/8
芸術	11/19	12/1	12/14	松戸歯	11/18	12/1	12/8
国際関係	11/18	12/1	12/12	生物資源科	11/18	12/1	12/11
危機管理	11/19	12/1	12/13	薬	11/18	12/1	12/15
スポーツ科	11/19	12/1	12/13	短大三島	11/18	12/1	12/12
理工	11/18	12/1	12/15	短大船橋	11/11	12/1	12/14

※経済学部は「書類審査と事前課題」で選考する。

追加募集については、基礎学力選抜の合格発表後(12/1)に各学部で行われます。ただし、実施の有無については基礎学力選抜の募集人員を充足しなかった学部学科がある場合に限り各学部が実施の判断を行います。また、基礎学力選抜の3回目のセレクションという位置づけになるので、2回目までのセレクションの最低通過順位を超えている生徒のみがエントリーの対象となります。



次回12月号は、11月末に発行予定です